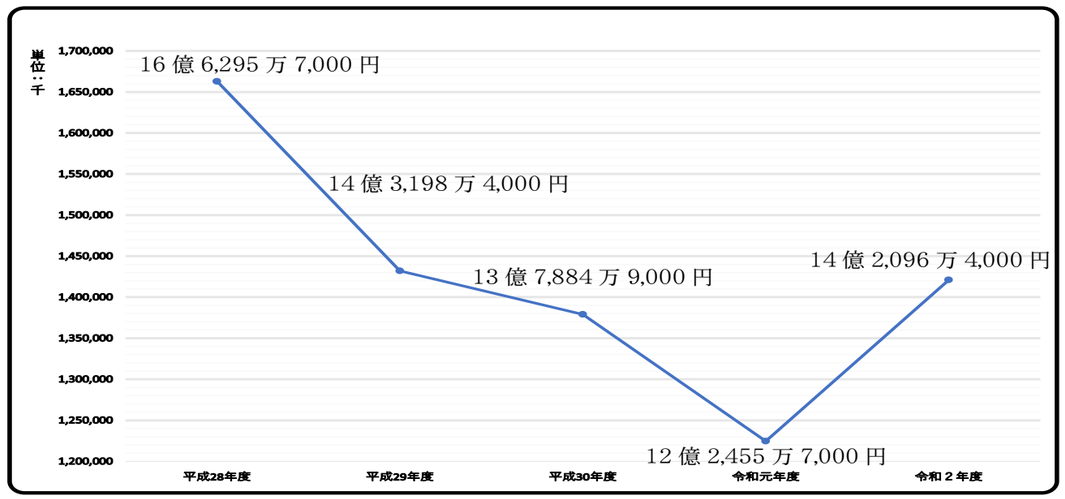
令和2年度決算審査

９月 15 日から 16 日までの２日間に渡って開かれた、令和２年度分会計の決算審査特別委員会にて、慎重審議の結果、一般会計・介護保険特別会計・国民健康保険事業特別会計・後期高齢者医療特別会計・下水道事業特別会計及び水道事業会計が原案の通り認定されました。

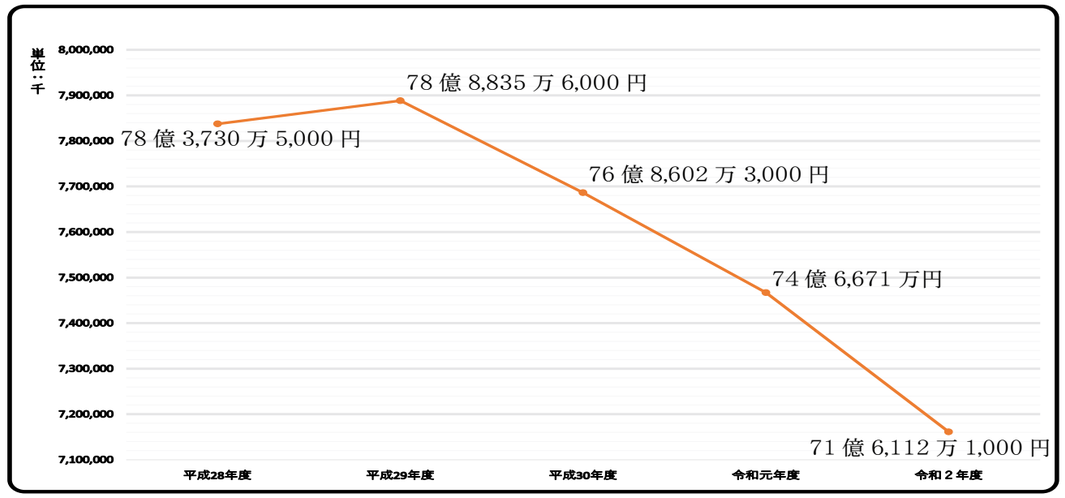
令和２年度一般会計の決算は、歳入総額 54 億 1,544 万 9,793 円、歳出総額 52 億 7,770 万 567 円となり、基金残高は 14 億 2,096 万 4,000 円となっています。

様似町の財政はどうなってる?

様似町基金（貯金）残高（Ｈ 28 ～Ｒ２）



様似町町債（借金）残高（Ｈ 28 ～Ｒ２）



一般質問

9月定例会では、議員3名・7件の一般質問を行いました。

質問①

様似町開基220年・町制施行70周年の記念事業について



水野洋一議員

問 来年予定されている、開基２２０年・町制施行70周年の主な事業の進捗状況と、町制施行70周年事業計画等を検討する際、町民の意見を聞く機関を設置するとのことでしたが、その機関の概要と状況について。

答 現在正式に決定しているのは「新様似町史」第２巻の発行のみである。

また町では、アイヌ政策推進交付金事業を活用しながら、各種アイヌ関連事業に取り組んでいるが、昨年度交付金事業として合計９事業が採択され、令和４年度中に行われる事業も６事業ほどある。この中には、町制施行70周年事業を視野に入れて、企画検討されたものもある。写真家によるアイヌ民族写真展、「トンコリ」演奏会、台湾原住民との交流その他、アイヌ文化ＰＲ用動画作成、「旧土人学校」に係わる資料整理、ふるさと絵本・「様似昔話」アニメーション作成等々である。また各課からは、国指定特別天然記念物「アポイ岳高山植物群落60周年記念事業」や「クラシック音楽演奏会」「図書館開館30周年事業」が挙げられている。尚、ＮＨＫとの共催事業、「民謡をたずねて」「真打ち競演」「お母さんと一緒宅急便」といった事業を要望している段階である。

２点目の、事業計画等検討する際、町民の意見を聞く機関の設置については、記念事業推進委員会を設置し、意見をいただく。今年度中に推進委員会を開催する。

質問②

日高山脈襟裳国定公園の「国立公園化」について

問 日高山脈襟裳国定公園の国立公園化についての進捗状況と、国立公園に昇格した場合の、メリット、デメリット、課題及び国立公園に決定した際、記念事業等の計画について。

答 日高山脈襟裳国定公園は、日高山脈の脊梁部アポイ岳一帯及び襟裳岬から黄金道路にかけての海岸線が、昭和56年に国定公園に指定され現在に至っている。環境省においては自然保護思想の醸成や生物多様性保全への関心、エコツーリズムによる利用の増加など、自然公園に対する意識や社会状況が大きく変化していることから、国立公園の新規指定や拡張の対象となり得る候補地を選定する目的で総点検を実施（平成19年～21年）。結果　日高山脈周辺の自然環境が我が国を代表する傑出したものであると高く評価され、国立公園の指定等を行う候補地として選定された。現在、国立公園化に関する計画の素案は提出されていない。

国立公園に昇格した場合のメリットは、国立公園というネームバリューによる公園利用者の増加、自然環境、施設整備交付金の補助率のかさ上げ、国直轄事業により登山道やトイレ、ビジターセンター、キャンプ場等インフラ整備が期待できる。また高山植物を始めとするアポイ岳保全に対する環境省の関わりと連携が期待できる。デメリットとしては、土地利用等の許認可までの時間が今までより多少時間がかかることが予想される。オーバーユース（観光客等の入込客増加）による地域資源の劣化である。

課題①現在行われている国定公園区域内での砕石事業についてであり、町として鉱工業は住民生活を支える大きな柱である。町の重要産業として守るべきものと考えている。町は道とも連携し環境省に対して強く要望している。

課題②公園利用者の増加が見込まれる中、いかに地域に還元できるか、その方法を検討する必要がある。また登山道の整備や携帯トイレの普及推進、高山植物盗掘防止の方策、交通アクセスの確保。

いまだにその区域等が示されておらず、地権者との説明や協議が出来ていない中で、軽々に発言することは非常に難しいが、国立公園になる想定での話となるが、講演会などの記念事業はしたいと考えている。



▲ 日高山脈